JOSAI INTERNATIONAL UNIVERSITY
城西国際大学Sports
発行者:〒283-8555 千葉県東金市求名1番地　城西国際大学
秋季号
2017年12月
vol.3

さあ、五輪選手の誕生へ

ＪＩＵアスリートは、「スポーツの秋」に、栄冠を目指して汗を流してきた。サーフィン部員は、房総の海で波に乗りながら、３年後の東京五輪を目指す。硬式野球部、サッカー部、観光学部軟式野球部をはじめ各運動部の「次は大学日本一へ」の目標は変わらない。選手たちに激励のエールを送ろう。

山口太介の力強いライディング＝写真㊨。ダイナミックな「オフザリップ」を決める菜花つばさ＝写真㊥。河野留偉のバックサイド「オフザリップ」＝写真㊧

「スポーツにエールを」

志賀　直温
東金市長

城西国際大学には、硬式野球部、サーフィン部、サッカー部など高いレベルの運動部があります。学生の活躍ぶりが目に浮かんできます。

わたしも学生時代、スポーツで汗を流しました。高校時代（千葉県立成東高校）は、山岳部でした。山岳は、高校総体の種目にもあります。パーティーを組み、体力審査、歩行技術、マナー、幕営技術といった登山技術を総合的に競うものです。わたしも高校総体に出場しました。成績は、あまりよくなかったですが、体力を養うために重いリュックサックを背負い、学校から、海岸まで往復 20 キロを歩きました。日本アルプスなどにもよく登りました。

大学時代（国立弘前大学）では、空手道部に所属しましたが、体を壊して、途中からはマネージャーとして部を支えました。

地域活動の一環としてもスポーツにエールを送ります。毎年２月に「川道三郎杯城西国際大学少年サッカー大会」が東金キャンパスの高円宮殿下記念スポーツパークで開催されています。この大会は、スポーツを通して次世代を担う青少年の健全な育成に寄与し、スポーツを楽しみながら親睦と交流を図る目的で始められたと聞いております。東金市をはじめ山武郡市の少年サッカーチームが集い、プレーします。地域のスポーツ振興に大いに貢献しています。

東金市はアリーナやグラウンドを整備し、サッカーの公式戦の開催や大試合に臨む選手の最終調整地として活用してもらうなど市民にスポーツを親しんでいただけるよう努めてきました。今後も「少年サッカー大会」のようにレベルの高い城西国際大学の選手たちと市民のスポーツ交流の場を広げていければ、と思います。

全国屈指のサーフィン強豪校として

全日本学生選手権（11月）で27回目の団体優勝　サーフィン部

全国の大学の中で、屈指のサーフィン強豪校といえば城西国際大学である。11月の全日本学生選手権秋季大会（千葉県鴨川市マルキポイント）で27回目の団体優勝。8月の全日本選手権（静岡県磐田市豊浜海岸）にも主力部員が出場した。サーフィンは20年東京五輪で初開催されることが決まり、城西国際大学からも日本代表選手が誕生する可能性は十分ある。サーフィン部の山口大介主将（2年・成田北高校出身）、河野留偉さん（2年・一宮商業出身）、菜花つばさ（4年・千葉明徳高校出身）に意気込みを聞いた。

日の出とともに海に入り
毎日４時間の練習

サーフィンは、東京五輪のポイントとする山口は「今まで皆でまとまって練習することが少なかったが、だんだん皆が集まり、練習会を開いてレベルアップに取り組んでいる」と話す。

日本サーフィン連盟の検定でショートボード１級合格者である山口と河野らが指導も行い、部員は着実に力をつけている。日の出とともに海に入り、授業を受けた後の夕方から再び波に乗る毎日。陸上トレーニングなども取り入れており、練習時間は一日４時間にも及ぶ。

全国で約30大学がサーフィンに取り組む中、城西国際大学は宮崎産大と並ぶ強豪校。その主力である山口、河野らは20年東京五輪出場への期待を背負う選手なのだ。

「成績を残して、五輪を目指す。20代ならではの力のあるサーフィンができればいい。魅せる競技なので戦い方はいろいろあるし、自分はサーフィンをするために大学に入ったので」と山口。「まずは日本連盟の強化指定選手になって、そこから五輪代表に選ばれたい」と河野も地元開催の五輪を見据えていた。城西国際大学から目の丸をつける選手が出る瞬間が、今から待ち遠しい。

主将の山口（左）と河野

2020年東京五輪サーフィン競技アラカルト

☆実施種目――男女ともにショートボード（９フィート＝約270センチ未満のボードを使用する競技）。出場選手は男女それぞれ20人ずつ。
☆会場――千葉県長生郡一宮町の釣ヶ崎海岸。
☆ルール――国内外の大会で最もポピュラーなルールは、４人が同時に海に入り、制限時間内（15～20分）にライディングして技術を採点（10点が最高得点）し、高得点の２本の合計点数で競う。制限時間内のライディング回数は15分の場合８本など制限がある。
☆選手選考方法――日本代表は男女ともに１人ずつ。方法はランキングによる選考、大会による選考など。

本学が誇る女子選手
学生選手権で通算４度優勝

サーフィン部が誇る女子選手が前主将の菜花だ。

前主将の菜花

全日本学生選手権で通算４度優勝、全日本選手権も制した実力者で16年は日本連盟強化指定選手に。現在は就職活動中のため活動を控えているが「余裕が出てきたら、また地元の大会に出られたらいいな。プロトライアルにも出たい」と復帰を視野に入れている。

記者募集

記事を書いてみませんか。初心者でも大丈夫です。新聞記者経験が長い職員が取材、書き方を基本から指導します。写真、イラスト、漫画などでも協力してくれる学生も募集しています。

連絡はこちらまで ☎０３・６２３８・１２４１
学校法人城西大学法人本部
広報センター

JUから　箱根駅伝への出場決める

2年ぶり14回目
城西大学男子駅伝部

第94回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）の予選会は、10月14日、東京都立川市で行われ、男子駅伝部は10時間8分50秒で総合8位となり、2年ぶり14回目の本戦への出場を決めた。部員たちは一丸となって見事、昨年のリベンジを果たした。部員たちは、シード権奪取と過去最高の5位入賞を掲げて箱根路に臨む。【城西大学　箱根駅伝取材班】

立川市の陸上自衛隊立川駐屯地から国営昭和記念公園に至る20㌔のコースで行われ、各校12名が出走し上位10名の合計タイムで競った。5㌔通過順位は9位、10㌔で順位を一つあげて8位となり、順位を保ったまま20㌔を終えた。出走したメンバー12人中10名が60分から61分台でまとめ上げ、総合力で昨年の雪辱を果たした。

3、4年生の上級生が中心の今回のエントリーメンバー。個人では金子元気（経営3）が24位、菅真大（経営4）が29位と上位に食い込み、チームに貢献した。昨年は、10時間19分10秒と目標タイムに及ばず、総合12位で予選落ちだった男子駅伝部。今年は小雨、低温、無風の好コンディションにも恵まれ、10時間8分50秒の好記録で本戦復帰を果たした。

本戦出場が決まり歓声を上げる選手たち

箱根予選会成績

個人順位	名前（学部学年）	タイム
24位	金子元気（経営3）	1時間00分01秒
29位	菅　真大（経営4）	1時間00分15秒
37位	西嶋雄伸（経営2）	1時間00分23秒
51位	山本竜也（経営4）	1時間00分42秒
85位	大石　巧（経営3）	1時間01分01秒
94位	中原佑仁（経営2）	1時間01分06秒
100位	服部潤哉（経営3）	1時間01分09秒
115位	荻久保寛也（経営2）	1時間01分17秒
127位	中島公平（経営3）	1時間01分23秒
143位	峡下拓斗（経営3）	1時間01分33秒

（12人出走し、上位10人のタイムの合計で競う）

箱根予選会報告会から

■樺部静一　監督

昨年、この場で13年続いた箱根駅伝出場を逃してしまい、部員一同、本当に悔しい思いをした。長い1年になるという話をしたが、選手たちはそれを受け止め、これまでしっかり練習を重ねてきた。前期の全日本大学駅伝の予選通過が、自分たちのやるべきことを見つけ、そして飛躍につながったと思う。さらに夏を越えて、こうして今日、（予選会の）通過を迎え、本当にうれしく思う。今後の全日本、箱根駅伝の本戦ではしっかり走れるよう鍛えたい。今日、応援に回った選手たちの中に成長著しい選手もいるし、強くなる選手もいると思う。ポトム（底）もち、ものすごく高まっている。今後の城西大学を期待して応援していただければと思う。

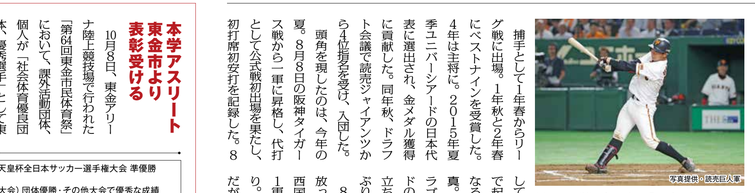
■小野正人　部長

2年ぶりに正月に箱根に帰ることができた。今日これから気持ちを切り替えて、全日本大学駅伝、正月の2、3日に向けて気を引き締めていきたい。これまで1年間、臥薪嘗胆の気持ちで、それぞれの部員をはじめ、マネジャー、コーチ以下、様々な努力をして頑張ってきた。その間のご支援、本当にありがとうございました。これからまだ試合が続くので、絶大な支援をよろしくお願いします。

■中倉俊也　主将

1年前は予選会を落ちて、そこからチームを作り直すということで、4年生を中心に頑張ってきた。全員が箱根にもどるということを意識して日々練習して、その結果が今日につながったと思う。今後も全日本、箱根とある。今日の8位に満足せず、もっと個々の力を高めていき、全員で「箱根シード、5位（入賞）」の目標を達成していきたい。

羽ばたく卒業生へエールを
宇佐見真吾さん・読売ジャイアンツ所属
2016年　環境社会学部卒業、千葉県・柏市立柏高校出身



写真提供：読売巨人軍

月18日の横浜DeNAベイスターズ戦では延長10回裏にプロ入り初本塁打をサヨナラ本塁打で達成した。このプレーがファンの目に留まり、8月度の「月間アットホームヒーロー賞」を受賞した。

8月25日の阪神タイガース戦では、8番・捕手として一軍で初の先発メンバーに起用された。5回に同点となる2点本塁打を放った「写真7 supported by リポビタンD」第一部（ファーム部門）において、各球団から一人ずつ選出された優秀選手賞を受賞した。

捕手として1年春からリーグ戦に出場。1年秋と2年春にベストナインを受賞した。4年は主将に。2015年夏季ユニバーシアードの日本代表に選出され、金メダル獲得に貢献した。同年秋、ドラフト会議で読売ジャイアンツから4位指名を受け、入団した。

頭角を現したのは、今年の夏。8月8日の阪神タイガース戦から一軍に昇格し、代打として公式戦初出場を果たし、初打席初安打を記録した。8月18日の初本塁打を放ったことに、各新聞は「城西国際大学出身で、8日に一軍初昇格を果たしたばかりプロではわずか2安打だが『打てる捕手』との評判通りの持ち味を発揮した。途中出場で3度目の打席となったこの回2死二塁。高めに来たスライダーを振り抜いた。打球が左翼席に軽々と到達してもスピードを落とさずにダイヤモンドを走り抜け、チームメートの手荒い祝福を受けた」といった内容の記事・解説を掲載した。

また、宇佐見は、今年のプロ野球全表彰選手を表彰する「NPB AWARDS 2017」において、2死一塁で打席に立ち、同点本塁打を放つ活躍に手賞を受賞した。

この合同大学祭では、城西国際大学メディア学部の各セミが運営に協力した。舞台構成、音響設備、会場演出などの分野で専門的に勉強しているゼミ学生が日々学んだ知識を生かし、大学祭を盛り上げた。また、ステージでは、演劇部による公演、J－Uアイドル部によるコンサート、ダンスサークルやDJイベントを行い、来場者を沸かせた。

1階ステージでは、東金キャンパスからゲストに出演した三学友文吹奏楽部のコンサートや、外部団体によるフラダンスの公演も行われた。

教育発表部門では、メディア学部の映像体験やアニメーション体験、ASIAN留学生による文化紹介発表などを行った。またメディア学部学生の特殊メイクサークルによる本格派お化け屋敷は、入場するのに1時間もかかる盛況ぶりだった。

来年もこJOSAI TRIVERSITY FES（トライバーシティ・フェス）でお会いしたい。

紀尾井町キャンパス　3大学合同大学祭「JOSAI TRIVERSITY FES」を初開催

オープニングセレモニーでは、杉林学長ら3大学の学長が「愛があふれる学祭」などと挨拶したあと、大学祭実行員会の城西大学代表の理学部2年山森碧が「開催には多くの困難がありながら、何とか仲間たちと協力し、問題を解決していきました。この第1回合同大学祭を3大学の交流だけではなく、地域の方々とも繋がれるイベントにしたい」と開催の言葉を述べた。

10月1日、東京紀尾井町キャンパスで、城西大学、城西国際大学、城西短期大学の合同大学祭「JOSAI TRIVERSITY FES」（トライバーシティ・フェス）の第1回を開催した。写真。

医務室から「健康の話」――食中毒にご注意ください

学生課・医務係　土肥和子

食欲の秋、大学祭での打ち上げ、ゼミ、サークル等で会食する機会が増します。

楽しい会食ですが、「食中毒」に感染する危険も忘れないでください。食中毒の原因は、ウイルス、化学物質、自然毒とさまざまです。

気温の高い夏に多い「細菌性食中毒」と秋から冬にかけて流行する「ウイルス性食中毒」について紹介します。

細菌性食中毒…「感染型」「毒素型」

	主な菌	潜伏期	主な症状	主な感染源
感染型	カンピロバクター菌	1～7日	腹痛、下痢、嘔吐	食肉（特に鶏肉）
	腸炎ビブリオ菌	10～20時間	激しい腹痛や下痢	主に魚介類
	ウェルシュ菌	6～18時間	軽い腹痛や下痢	魚肉、魚介、野菜の調理品
	腸管出血性大腸菌（O-157等）	3～9日	出血を伴う下痢	食肉
毒素型	ボツリヌス菌	4～36時間	めまい、頭痛	食肉、魚肉、缶詰や真空包装食品
	ブドウ球菌	2～4時間	嘔吐、下痢、腹痛、筋肉痛	おにぎり、サンドウィッチなど

ウイルス性食中毒

主なウイルス	潜伏期	症状	感染源
ノロウイルス	1～2日	下痢、嘔吐	二枚貝など

ノロウイルスは、糞便、吐しゃ物がドアノブやトイレ、手すりなどに付着することにより感染します。「ハイター」「ブリーチ」などの次亜塩素ナトリウムの入った漂白剤を薄めたもので拭き掃除し、使用済みのものはまとめて破棄します。

下痢や腹痛が続き、便に血液が混じる時は、早めに内科で診察を

この夏は、食中毒関連の報道を多く目にしました。決して他人ごとではありません。「つけない、増やさない、生かさない」を心がけましょう。

・清潔に保つ
・生の食品と加熱済の食品を分ける
・良く加熱する
・安全な温度に保つ
・安全な水と原材料を使う

主な成績

団体
サッカー部――第22回千葉県サッカー選手権大会 兼 第97回天皇杯全日本サッカー選手権大会 準優勝
千葉県大学サッカー選手権大会 優勝（2回目）
サーフィン部――2017年度全日本学生サーフィン選手権（春季大会）団体優勝・その他大会で優秀な成績

個人
2017年度全日本学生サーフィン選手権（春季大会）個人
メンクラス―優　勝・吉田真之助（国際人文学部国際交流学科1年・上総高校出身）
―準優勝・河野留偉（国際人文学部国際交流学科2年・一宮商業出身）
（ショートボード）メンBクラス―優　勝・富澤裕太（経営情報学部総合経営学科1年・松栄高校出身・埼玉）
―準優勝・塩谷拓海（国際人文学部国際交流学科2年・三島北高校出身）

（編集）学校法人城西大学　広報センター　（発行）城西国際大学　総務課

戦い方を工夫し全国大会で勝利を

「選手一人一人は、いいものを持っている」（高橋監督）

女子ソフトボール部

女子ソフトボール部

昨年、8年ぶり2回目の全日本出場を果たす

東金キャンパス近くにある水田記念球場で、授業の時間割に合わせて、朝練習か夕方練習を行っている。秋学期のスケジュールは、火曜日、金曜日は夕方、水曜日、木曜日は朝の練習だ。月曜日はオフだが、土曜日、日曜日は練習試合もこなす。

創部は2003年。現在、指導するのは、経営情報学部の高橋光平助教＝写真＝だ。高校は男子ソフトボールの名門である新島学園を卒業したが、ソフトボールとは縁がなく、仙台大学時代はアルペンスキーを得意とした。2007年にJ-Uの教員となり、翌年から女子ソフトボール部を任された。当時は、J-U職員で、現在コーチの田邉敏広さんがチームを育成しており、ほどなく全日本大学選手権大会への出場の機会を得た。

それからやや低迷の時代があったが、昨年の全日本大学選手権大会に8年ぶり2回目の出場を果たした。しかし、いずれも初戦で敗退し、残念ながら全国大会では勝利を味わったことはない。

今秋は、関東学生女子ソフトボール秋季リーグ戦で、筑波大、新島学園短期大学に勝利したものの2勝3敗に終わり、第4位。続く関東学生ソフトボール選手権大会では、1回戦で国士舘大に敗退した。

主将の六角風花は「試合の後半が弱い。選手一人一人は、いいものを持っていると思うので、集中力を高めれば……」、高橋監督も「J-Uよりも体力・技術が勝っている大学も多いが、戦い方の工夫次第で強豪校に太刀打ちできる」と話す。

■プロフィール
顧　問：七井誠一郎
監　督：高橋光平
コーチ：田邉敏広
主　将：六角風花（花巻東）

「投・打」個人賞を獲得 ベストナインに5人

力投する土肥佑

【ベストナイン】
投　手　土肥康佑（初）　（川之江高出身）
捕　手　中西北斗（2）　（金光大阪高出身）
一塁手　八木佑馬（2）　（習志野高出身）
二塁手　関本壮馬（初）　（横浜商科大高出身）
外野手　岸添有哉（初）　（生浜高出身）

【個人賞】
最多勝・奪三振王――土肥康佑（初）
首位打者――岸添有哉（初）

硬式野球部

千葉県秋季リーグ戦は残念ながら準優勝

千葉県大学野球秋季リーグ戦は、国際武道大学と最終節まで接戦を繰り広げたが、残念ながら準優勝となった。また、10月30日に開催された関東地区大学野球選手権大会に出場したが、筑波大学に惨敗する結果となった。

千葉県大学野球秋季リーグ戦において、以下の5人がベストナインに選出された。また、2名が個人賞を獲得した。最多勝・奪三振王、首位打者――これは「投・打」における最高の個人賞だ。

東関東秋季リーグ優勝 3年ぶり2度目

東日本選手権では優勝候補相手にエース黒川が好投も惜敗

鴨川コーナー　軟式野球部

東関東秋季リーグ優勝とともに記念撮影する選手たち

2010年4月に創部された観光学部軟式野球部。河上國男監督を慕い、その出身地の四国から多数鴨川キャンパスに来た選手が9割を占める。四国といえば高校野球の盛んな地域。入部して来る選手たちの技能水準も高い。

今年度の東関東大学軟式野球連盟春季リーグ戦において5戦全勝、東リーグ1位で春季代表決定戦へ進出。代表決定戦準決勝では国際武道大学に7－2で勝利。決勝戦では帝京大学に1－4で敗れ全日本選手権への出場を逃した。

しかし、秋は雪辱した。10月6日に東関東大学軟式野球連盟秋季リーグ戦の優勝戦が行われ、日本大学経済学部を8回コールドで破ったのだ。3年ぶり2度目の優勝を果たし、第38回東日本大学軟式野球選手権大会（11月13日～17日）に出場した。

11月13日の東京・八王子の「ダイワハウススタジアム八王子」。地元の鴨川市民や倉林眞砂斗・副学長もJ-U関係者がスタンドで初戦の試合を見守った。対戦相手は、優勝候補の「一角と目される作新学院大だ。エース黒川万尋（2年・松山商業出身）は、1点を失ったものの好投を全うし、9回まで散発3安打に抑えた。結局、両校は1－対1で譲らず、延長戦にもつれ込んだ。

延長戦は、試合をスムーズに決着させるために採用された「タイブレーク方式」。無死満塁から始まり、先攻のJ-Uは、青木拓磨（3年・三条商業出身）の2塁打などで3点を挙げた。しかしその裏、四球にエラーが重なり、同点となったところで救援の金子拓海（2年・三条商業出身）を繰り出したが、流れを断ち切ることができず、サヨナラ負けを喫した。

試合後、河上監督は「選手はよくやったと思う。タイブレークにおける先攻チームの弱みが出た試合だった」と評価した。しかし、黒川（金子の両投手は、ともに2年生で来シーズンはおおいに期待できる）と語る。

学生野球ができることに感謝の念を

相浦淳也　JIU学務課長（硬式野球部OB）

城西国際大学が設立された1992年に経営情報学部に入学した1期生です。野球は、小学4年の時に市のスポーツ少年団に入り、始めました。中学で野球部に入り、高校時代（千葉県立東金高校）までキャッチャーでした。高校3年の夏の大会の直前に肩をこわし、大学でのポジションはファーストでした。

東金に新しい大学ができる、というので、自宅から通えることもありJIUに進学しました。硬式野球部に入った1期生は、18人で、事務職員の京相吉孝さんが指導者でした。当時は、開学したばかりで運動施設・設備が整っておらず、東金市営球場や成東高校の野球部が、遠征に出る時など不在の時に借りたものでした。

大学野球リーグへの加盟には数年かかることが通常ですが、本学は1年目の秋のリーグから千葉県大学野球の3部リーグへの加盟が認められました。このことは、京相監督をはじめ多くのカンビ苦労があったものと思います。当時は監督を中心に選手全員が1部リーグ昇格を最大の目標と掲げ、無我夢中で練習していました。その結果、3年目の秋に2部リーグに、4年目の秋のリーグで1部リーグ昇格を果たすことができました。加盟から7季での1部昇格が現在も千葉県大学野球リーグの最速記録であるということは、卒業した後に知ったことです。

卒業後、地方の金融機関を経て98年9月に、大学の職員になりました。いま硬式野球部は160人を超える部員がおり、部員数もグラウンドなど野球環境も、当時とは大違いです。後輩たちには、学生野球ができる、ということに感謝の念を持ってほしい。大学に通い野球ができるのは、父母のおかげ、多くの教員らの支えがあるからです。それを理解し、練習に打ち込んでほしいと思います。

アスリートの広場

創部26周年の硬式野球部に心のこもったエール

――水田記念球場（東金ボールパーク）

■市民から横断幕

7月23日、昭和26年（1951年）生まれのメンバーが集まる東金市内の有志団体「26会」より、硬式野球部に「応勝」の横断幕が寄贈されたー**写真**。野球部創部26周年目に合わせ、「26会」より心のこもったエール――絶妙のタイミングである。地元からの応援の横断幕は、今回で4年ぶり3回目の寄贈。日々の練習時に球場に掲げるだけでなく、2回目に寄贈された横断幕は、神宮球場（全日本大学野球選手権大会）や横浜スタジアム（関東地区大学野球選手権大会）にも掲げられ、選手を鼓舞した。

「26会」のメンバーは、この日、水田記念球場を訪れ、部員に横断幕を手渡した。代表して戸村秀次さん（東金商工会議所副会頭）は「野球部が東金に来てくれたことはわたしたちの誇れです。優勝を目指して頑張って欲しい」と激励した。

■整備計画

硬式野球部のロッカー棟建設計画がある。現在、部員167人を数えるが、硬式野球部の活躍で、新入部員が増え、今後180人規模の部員数になると予想される。現在のロッカー数は、50人分しかなく、部員全員に行き渡っていない状態だ。

今回の建設計画では、ロッカー棟は、1回建て、282平方㍍の広さ、トレーニングスペースも併設した132人分のロッカーが計画されている。

また、ブルペン改修計画もある。老朽化に伴い、また隣り合わせのピッチャー間の間隔が狭く投球がそれた場合、危険な状況にある。その間隔を30㌢広げ、屋根なども高めに改善する計画だ。

わたしも学生スポーツ

〝頭のスポーツ〟将棋

国際人文学部4年
伊藤 和貴
＝鹿児島・屋久島おおぞら高校出身

5歳の時に、アマチュア5段の父のてほどきを受けたのが将棋との出会いです。小学校時代は、将棋教室に入り、放課後、毎日のように通いました。そこでプロ棋士らの指導を受けましたが、父から教えてもらったことが多かったです。小学校3年生の時に小学生の全国大会に千葉県代表として出場し、7位になりました。この全国大会に出たことをきっかけにプロを目指しました。

中学2年の時に日本将棋連盟のアマチュア5段となりました。プロ棋士になるには、その養成機関に入る必要があります。試験があり、トップクラスの小・中学生が集まります。受験者同士で対局し、6回やって4勝しなければなりません。わたしは3勝3敗で、試験に落ちました。プロを目指すには中学2年では遅く、これがラストチャンスでした。プロになるのをあきらめ、一時、将棋をやめましたが、千葉県内の高校に入り、再度、将棋にチャレンジし「高校1位になろう」と決意しました。高校2年の夏に全国大会で5位になりました。このあと屋久島おおぞら高校（通信制）で学び直しました。

「どれか一つ外国語をマスターしたい」と思い、J1Uに入り、チェコ語を選びました。1年の時にチェコのカルル大学に6週間、留学しました。ここで将棋を普及させるのが目的のチェコ人の機関に出会いました。しかし、将棋の解説書・教材もない状態でした。まだチェコ語を十分に話せなかったので、片言の英語で将棋を教えました。この留学を含めチェコには4回ほど行っています。現地で教えるほか、インターネットでの指導も行っています。

大学3年の時に学生名人戦で関東代表として出場し、全国で5位になりました。就職先も将棋関係の会社に決まりました。将棋で国際交流を、の思いを持ち続けたいです。

チェコで将棋を教えている

JUコーナー

五輪展「夢をかたちに、2020年の主役たち」

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を記念して、水田美術館ギャラリー2で12月9日まで、五輪企画展「夢をかたちに、2020年の主役たち」が開かれている＝写真。オリンピック・パラリンピックの歴史や1964年の前回の東京大会などを振り返るとともに、3年後に迫った2度目の東京大会を目指す城西大学の学生や卒業生の姿も紹介している。

約30枚のパネルでは、五輪で日本初の金メダルを獲得した1928年アムステルダム大会、陸上競技の三段跳びの織田幹雄や日本女子初の金メダルを獲得した1936年ベルリン大会の競泳女子200㍍の前畑秀子らを紹介。女子体操のコマネチ、陸上のカール・ルイスら往年のスター選手のほか、体操の日村健三や陸上の中村兼三郎らの2020年大会で活躍が期待される若手アスリートも紹介。

また、城西大学関係では陸上男子400㍍ハードルで出場を狙う銀治木崚（経営学部4年）や渡部佳朋（経営学部3年）、リオ五輪の代表だった陸上長距離の相葉太（旭化成）らへのインタビューもパネル化して展示している。

号外

全日本女子駅伝選手権でシード権獲得6年ぶり16回目

第35回全日本大学女子駅伝対校選手権大会（杜の都駅伝）は10月29日、宮城県仙台市で行われ、アンカー二宮ホ桃香（現代政策2）の3人抜きの快走もあって2時間8分46秒で8位入賞し、6年ぶり16回目のシード権を獲得した。

1区のキャプテン・福居紗希（現代政策4）が先頭から13秒差の5番目で襷を2区に。上田未奈（経済3）が区間4位での好走でチームを3位にあげて3区の小笠原晴奈（経営2）へ。3区から最終区までは2年生のオーダー。小笠原は順位を7位に落としたが、続く佐光菜々子（医療栄養2）がシード権内である7位をキープしたまま5区の相原もこ（現代政策2）に繋いだ。ここでシード圏外の11位まで落ちたが、最終6区の三ツ木が、シード権内の8位でゴールに飛び込んだ。このチームで挑む最後の大会、富士山女子駅伝が12月30日、静岡県で行われる。

剣道部

新人戦で男子団体・男女個人ともに3位入賞

10月21日、勝浦市の日本武道館研修センターで、秋季千葉県学生剣道大会（新人戦）が開催され、男子団体戦、男女個人戦においてともに3位の入賞を果たした。

大学祭オープンセレモニーで今年も演武（剣舞）を披露

11月4～5日、東金キャンパスにおいて「J-Uフェスティバル」が開催された。剣道部は開催式で演武「風林火山」を披露した＝写真。大学祭でその「雄姿」を見せるのは、今回で4回目だが男子選手が参加したのは初めて。日本舞踊飛鳥流三代目家元から手ほどきを受け始めたのは9月から週に1回、40分程度。学生たち授業があるため合間が揃って手ほどきを受けることはないが、先生からの教えを剣道の稽古後や早朝に集まり、欠席者に教えることを本番直前までつなげる。迎えた本番、呼吸の合った男子15人、女子が大で約4分間、出陣を描く「風林火山」を力強く演じた。

剣道部の今井英雄監督は「試合に出られる選手、出られない選手が居るなど剣道の技術では差があるが、日本舞踊は全員が初心者であり、スタートラインが一緒であることから、普段通りでない学生が意気揚々と教えている姿は元気の源となり、『やればできる』との気持ちが浸透し、やがて力を合わせ呼吸が合ってくる。これこそ私が求めるチーム力（結束力）であり意義がある」と話す。

「男子団体戦」出場選手

学年	名前	出身高校
2年	下田晃平	高崎商大
	鈴木隆介	東海大望洋
	山崎史矢	高崎商大
1年	青木　成	文星芸大
	西守涼真	拓大紅陵
	オ田龍之介	九州学院
	末永久国	長崎日大
	井上眞太	千葉英和
	白石紘登	中京

男・女個人戦3位入賞選手
鈴木隆介（東海大望洋）
田仲原々（湯本）

柔道部

詫田 関東体重別選手権100㌔超級ベスト16

主将の土屋、上田、比嘉はベスト32

男子は期待の一年生が実力を発揮し出している。詫田真輝、上田泰成両選手だ。ともに九州学院出身の経営情報学部、関東学生柔道体重別選手権大会が、8月末に行われたが、詫田は、100㌔超級に出場し、ベスト16入った。あと一回勝ち抜けば、全国大会に出場することができた。このクラスの全国大会には、「五輪級」の選手もおり、さらに精進を重ね、そのレベルに近づいてほしいものだ。

一方の上田は、81㌔級でベスト32まで進出した。73㌔級に出場した主将の土屋皓仰（福祉総合学部3年・文星芸大附出身）、81㌔級の比嘉翔斗（経営情報学部4年・沖縄尚学高出身）が、同じベスト32になった。

後期より新体制としてスタートを切った柔道部。秋山修一監督は「男子は来年の目標として『全国本選権奪還』を、女子は『全国で勝つ』ことを掲げた。選手はそれぞれ高い意識を持って日々の稽古に励んでいる。目標達成、そして、さらに上のレベルを目指せるのでは」と話す。

ひたむきに稽古を重ねる柔道部の選手たち

女子駅伝部

「全日本駅伝でシード校に入れるチームを作りたい」（大塚監督）

練習に励むサッカー部の選手たち

「捲き重家」を現役で女子駅伝部の選手、早川真一郎さんが9月24日、全日本大学女子駅伝大会出場の選手を兼ねた「第22回関東大学女子駅伝対選手権大会」に出場した。千葉県印西市千葉ニュータウン周回コース（6区間30・6㎞）で26大学が出場。全日本大学女子駅伝には、シード校を除く上位8大学が出場権を得られるが、城西国際大学は1時間46分58秒のタイムで総合13位となり、「全日本」の出場を逃した。

しかし、監督・大塚美・経営学部教授が復帰したばかりで、いまはその指導のもとで実力を貯える時だろう。大塚監督は2002年にJ-Uに入り、女子駅伝部は2002年には全日本大学女子駅伝に初出場した。以来、10回連続出場を重ね、この間、最高で3位の座を占めた。姉妹校の城西大学の活躍もあり、「女子駅伝に城西あり」を全国に印象づけた。

ここ数年は、部員も減って低迷したが、大塚監督は日頃から「全日本駅伝でシード校に入れるチームを作りたい」と抱負を語っている。女子駅伝部員が再び「杜の都・仙台」で快走する日が楽しみだ。

サッカー部

リーグ戦通算（春期・秋期）10勝3敗1分で2位に

来期、念願の関東大学サッカーリーグ昇格を

千葉県大学サッカーリーグ部秋期リーグ戦が、9月3日から10月24日まで東金キャンパスの高円宮殿下スポーツパークなどで繰り広げられた。城西国際大学は、5勝1敗1分の成績だった春期リーグと合わせ通算10勝3敗1分一表＝で2位になった。リーグ優勝すれば、関東大学サッカー大会の出場権が得られる。また、この大会の予選リーグで2位以上になれば昇格定戦に進出でき、そこで勝利すれば関東大学サッカーリーグの2部に昇格できる。来年、春期、秋期に良い成績を収め、念願の関東大学サッカーリーグ昇格を果たしてほしい。

今年3月に就任した福井聡監督は、日本サッカー協会技術委員・ナショナルトレセンコーチなどを歴任した。前職のFC東京では、育成部長などをつとめ、選手、コーチの育成に手腕を発揮した。J-FA公認S級のライセンスを持つ。サッカーの卓越した理論家だ。

福井監督は日頃から「自立している選手、考える力を持つ選手になってほしい。〝魔法のツエ〟は、わたしが持っているのではない。選手自身が持っている」と話す。

節	勝敗	対戦相手	結果	春期リーグ結果
1	●	江戸川大学	0－1（前半0－1、後半0－0）	○1－0
2	○	東京情報大学	2－1（前半1－1、後半1－0）	○6－1
3	○	千葉大学	3－2（前半1－0、後半2－2）	○3－0
4	○	淑徳大学	8－0（前半4－0、後半4－0）	○4－0
5	●	中央学院大学	1－2（前半1－0、後半0－2）	●0－1
6	○	国際武道大学	2－1（前半1－1、後半1－0）	○1－0
7	○	明海大学	2－1（前半1－1、後半1－0）	△3－3